

令和元年度 平塚市市民活動推進補助金

活動報告会

◆会場 ひらつか市民活動センター

◆開催日 令和2年7月4日（土）

目次

- スケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P1
- 報告団体一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P2
- 入門コース 実績報告書（5団体）・・・・・・・・ P3～32
- 発展コース 実績報告書（7団体）・・・・・・・・ P33～69
- 審査委員紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P70
- 寄附紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P71

活動報告会スケジュール

●開催日：令和2年7月4日（土）

●会場：ひらつか市民活動センター

時 間	内 容
14:00	活動報告会開会
14:05	<p>活動報告会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告団体による発表（3分）、質疑応答（3分）、審査委員から講評（2分） ※質疑応答では、1つの質問に対して1分以内程度で回答してください。 <p>〔入門コース 発表〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 14:05～ 上惣領竹あかり ② 14:20～ あいあいリトミック ③ 14:35～ 平塚100人カイギ ④ 14:50～ 安心・安全を考える会 ⑤ 15:05～ 八幡郷土史編纂委員会 <p>〔発展コース 発表〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 15:20～ NPO法人 暮らし・つながる森里川海 ② 15:35～ カベラ日本語の会 ③ 15:50～ 子ども学習支援グループ 須賀の寺子屋 ④ 16:05～ ひろばの会 ⑤ 16:20～ ひなポンクラブ ⑥ 16:35～ つるかめ社中 ⑦ 16:50～ 親と子の寺子屋 ふれあい自遊塾
17:00	閉会

報告団体一覧

●入門コース(5団体)

	団体名	申請活動・事業名	補助額	ページ
1	上惣領竹あかり	七夕飾りと竹燈籠づくりで地域おこし	10万	3
2	あいあいリトミック	リトミックによる子どもの発達支援・音楽療法による、障がい児、者、高齢者の自立支援	10万	14
3	平塚100人カイギ	平塚100人カイギ	10万	21
4	安心・安全を考える会	レッツ防災119、レッツ防犯110	10万	25
5	八幡郷土史編纂委員会	八幡郷土史集大成版の作成準備	4万	29
		合計	44万	

●発展コース(7団体)

	団体名	申請活動・事業名	補助額	ページ
1	NPO法人 暮らし・つながる森里川海	湘南いきもの楽校 プロジェクト 子どもが元気、いきもの元気、地域が元気	30万	33
2	カベラ日本語の会	「ボランティアのための養成プログラム」作成と増える日本語を母語としない人への日本語を通じた支援の継続	18万	43
3	子ども学習支援グループ 須賀の寺子屋	子どものための学習支援教室	21万	48
4	ひろばの会	ひろばの会 創立40周年記念—講演・上映・交流—	11万	52
5	ひなポンクラブ	自治会キャラクターを活用した地域の活性化	21万	56
6	つるかめ社中	民謡踊りを楽しむ知的障がい者の活動	17万	61
7	親と子の寺子屋 ふれあい自遊塾	増え続ける子どもの諸問題への予防・軽減・回復事業	29万	65
		合計	147万	

平塚市市民活動推進補助金 令和元年度事業報告書（入門・発展コース）

1 団体名	上惣領竹あかり	
2 事業名	七夕飾りと竹燈籠づくりで地域おこし	
3 コース区分 ・補助額	<p>（以下のどちらかのコースを○で囲んでください。）</p> <p>○ 入門コース ・ 発展コース</p>	10万円
4 実施期間	<p>（開始期日）（完了期日）</p> <p>2019年4月1日 ～ 2020年3月31日</p>	
<p>5 事業の目的</p> <p>申請書と同じ内容を記入してください。</p>	<p>① 地域のつながり 私たちの地域では高齢化が進み半数の家庭が一世帯で、子どもたちとの交流も減り元気が無くなってきている、子供会で作っていた七夕飾りを大人が作っていく事で、家族以外の人たちとの交流も深まり年をとっても元気で居続ける地域作りを目指す。</p> <p>② 土屋の竹をどうにかできないか 土屋の竹材を利用している方と出会い、見学させてもらいその作品に感動を覚えた、七夕だけでは半年の活動で終わるため年間を通してできる物として竹燈籠作りを始めた、将来は全戸に竹燈籠を灯し活性させたい。</p> <p>③ 市の七夕を盛り上げる 上惣領は平塚の西の玄関口にあり、ここから七夕を盛り上げる。土屋にはあと3つの自治会があるので、土屋全体に広がれば市の七夕「イベント」に活気が出る。</p>	
<p>6 実施した内容</p> <p>活動・事業の実績（実施内容・実施日・場所・参加人数など）について具体的に記入してください。</p> <p>※ 申請書の内容と相違があった場合はその変更点と理由を記入してください。</p>	<p>1.土沢中学校生徒への竹燈籠づくりの指導会（5/30） 生徒22名と指導員6名の参加</p> <p>2.地元公民館での七夕と竹燈籠の鑑賞会（7/6） 鑑賞会の来場者60名ほど</p> <p>3.土屋夏祭りに竹燈籠で中学生作品とコラボ展示。（8/3）</p> <p>4.七国荘祭りに竹燈籠で中学生作品とコラボ展示。（10/19）</p> <p>5.土屋ざる菊会場での展示（11/2）</p> <p>6.田んぼアート展へ展示協賛（11/9）</p>	

<p>7 得られた成果・効果</p> <p>活動・事業を実施したことで良かった点、得られた成果、確認された効果などについて記入してください。</p> <p>また、アンケート等で参加者や受益者（サービスを受けた方）の評価がわかる場合は、記入してください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 土沢中学校生徒への指導会では道具の充実等で出来上がった作品のレベル向上で生徒たちの満足を得た。 (インパクトドリル、キリ、作業台を持参した) 2. 地元公民館での鑑賞会は、七夕飾りで前年度同様 2 等賞と竹燈籠は前年度を超える展示数量 120 個（前年度より 60 個増え）全体のボリュームが上がり来場者数 60 名ほどで盛大に出来ました。 3. 土屋夏祭りでは中学生作品と展示コラボしたことで中学生の作品に興味津々で、祭り来場者 120 名のほとんどの方が写真に収め広く伝わった印象を受けた。 4. 七国荘祭りでも中学生作品と展示コラボしたことで、盛況に終わることが出来た、中でも市長の食いつきが印象に残りました。 5. ざる菊展との展示では菊との幻想的な灯で来場者の心に残ったものと感じました。 6. 田んぼアート展は昨年続く展示で年度の締めくくりとして前回より多くの来場者を増やせた。来場者 210 名ほど
<p>8 反省点・課題</p> <p>活動・事業を実施した結果、反省点や課題としてあげられる事項について記入してください。</p> <p>また、反省点や課題の改善方法を検討したり、解決を図った場合は、その内容を記入してください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 土屋ざる菊会場での展示は幹線道路と交差点に隣接していることで安全面での課題が残りました。 2. 竹燈籠の個数が増えたことで保管場所が手狭になったのと環境面からカビが発生する課題が残りました。
<p>9 今後の事業展望等</p> <p>活動・事業について今後も継続的に行うものであれば、その計画や、団体としての今後の活動計画・事業展望等を記入してください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 今後の展望としては、七夕飾りつくりと竹燈籠の製作は奥が深く更なる向上と共に今後も継続する。 2. 市の七夕を盛り上げる 上惣領は平塚の西の玄関口にあり、ここから七夕を盛り上げる。土屋にはあと 3 つの自治会があるので、土屋全体に広げ市の七夕「イベント」を盛り上げて行きたい。 3. 竹燈籠に関しては、竹燈籠教室、竹細工教室 完成品の販売を手掛け活動資金に繋げたい。

活動・事業の収支決算書

※ 団体全体の収支ではなく、補助対象事業に限定した収支を記載してください。

事務局記入欄 発展コース補助割合確認

項目	予算額 (円)	決算額 (円)	増減額 (円)	具体的な内容 (増減理由や積算根拠)
① 収入				
補助金	100,000	100,000	0	平塚市市民活動推進補助金
助成金	2,000	33,000	31,000	自治会より助成金
会費	15,000	6,879	-8,121	会費 200 円×30 人及びチャリティー寄付
収入合計	A 117,000	B 139,879	B-A 22,879	発展コース：補助対象経費 円 × % = 円 補助限度額 円
② 支出				
項目	予算額 (円) (うち補助金額)	決算額 (円)	補助対象経費 (円) (うち補助金額)	増減額 (円)
消耗品費	40,000 (40,000)	43,324	43,324 (14,137)	3,324
物品購入費	65,000 (57,000)	85,863	85,863 (85,863)	20,863
印刷費	7,000 (3,000)	0	0 (0)	-7,000
飲食費	5,000 (0)	10,692	0 (0)	5,692
支出合計	C 117,000 (100,000)	D 139,879	129,187 (100,000)	D-C 22,879
① 収支決算額 B139,879 円 - D139,879 円 = 0 円 【備考】				

※ 支出額の () 内は、支出のうち補助金から支出する金額を記載してください。また、各支出項目についての領収書の写し (コピー) を添付してください。

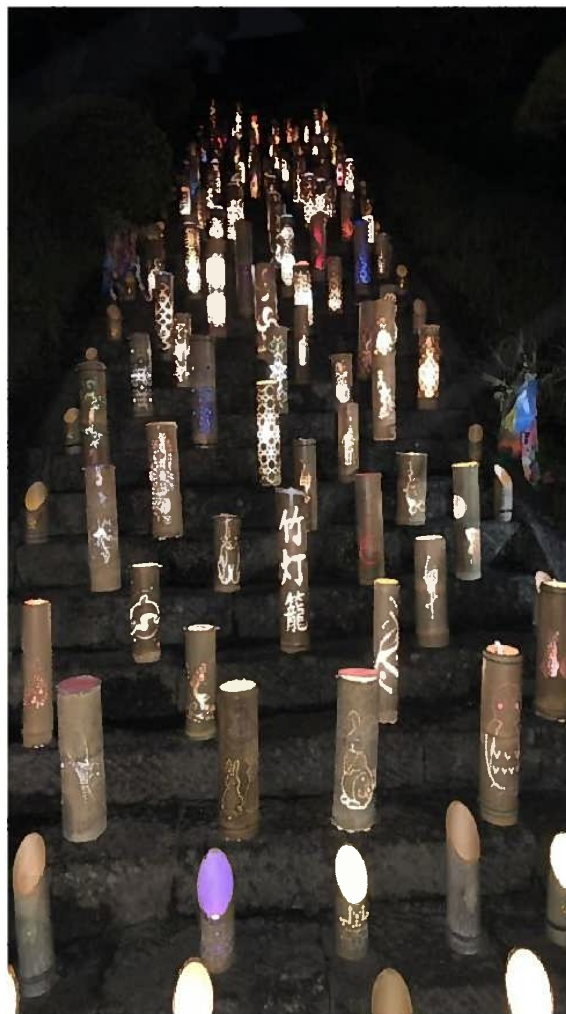
購入工具



土沢中学校指導 5月30日



七夕と竹灯籠の鑑賞会 7月6日



七夕鑑賞会(二等賞頂きました)



土屋夏まつり 8月3日



七国荘まつり 10月19日



ざる菊展とのコラボ 11月3日



田んぼアート展 11月19日



平塚市市民活動推進補助金 令和元年度事業報告書（入門・発展コース）

1 団体名	あいあいリトミック	
2 事業名	リトミックによる子どもの発達支援 音楽療法による障がい児、者、高齢者の自立支援	
3 コース区分 ・補助額	(以下のどちらかのコースを○で囲んでください) <input checked="" type="radio"/> 入門コース <input type="radio"/> 発展コース	10万円
4 実施期間	(開始期日) 平成31年4月 1日 ~ (完了期日) 令和2年 3月 31日	
5 事業の目的 申請書と同じ内容を記入してください。	<p>発達障がいの疑いがあるといわれるグレーゾーンの子どもの、10人に1人いるといわれる昨今、なまの音楽でコミュニケーション能力や、音楽能力の向上に役立つと言われるリトミックを用いて、子どもの発達の手助けを目的としている。</p> <p>また今後迎える超高齢社会に向けては、人の心の深い部分に直接働きかけその人の病気や障がい、問題行動などを良い方向に変化させていく治療手段である音楽療法で自立の手助けをし、毎日楽しく生活できるような支援を目的としている。</p>	
6 実施した内容 活動・事業の実績(実施内容・実施日・場所・参加人数など)について具体的に記入してください。 ※ 申請書の内容と相違があった場合はその変更点と理由を記入してください。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 未就園児親子対象の子育てあいあいリトミックサークル 大野・旭北公民館・福祉会館にて毎月4回 延参加者数599名 ・ 子ども発達支援室くれよん要支援児対象のリトミック 毎月1回 年間11回開催 延参加者数 約200名 ・ 高齢者施設での音楽療法ピアノ伴奏担当 毎月4回延参加者数 約1000名 ・ 2019年7月27日 mumu ピアノ教室発表会にてゲスト出演参加者数150名 ・ 2019年9月23日 10時～11時30分 平塚市東ブロック公民館の家庭教育学級の一つとして、英語リトミックを大野公民館ホールで行う参加者数90名 ・ 2019年12月13日 10時～11時30分 城島公民館の家庭教育学級の一つとしてリトミックコンサートを行う 参加者数34名 ・ 2020年2月23日 四之宮・大野公民館まつりに出演 出演者数33名 ・ 2020年3月12日 大野・四之宮・八幡公民館の家庭教育学級の一つとしてリトミックコンサートを行う予定でしたが、コロナウイルスのため中止 参加者数90名の予定でした ※3月の活動はすべてコロナウイルスのため中止 	

<p>7 得られた成果・効果</p> <p>活動・事業を実施したことで良かった点、得られた成果、確認された効果などについて記入してください。</p> <p>また、アンケート等で参加者や受益者（サービスを受けた方）の評価がわかる場合は、記入してください。</p>	<p>団体を設立してから2年がたち、活動への参加者数は延べ3000人を超えました。障がいの有無に関わらず、多様性を尊重するインクルーシブ教育の考えに元づき、生の音楽を楽しむ多世代地域交流の場を提供してきた。</p> <p>子育てリトミックサークル参加者へのアンケートでは</p> <p>「人見知りの子どもが初回から楽しそうに参加できて驚いた」「親子で楽しんで、リフレッシュさせてもらっている」「自分の子どもの興味のある事、無い事がわかり、できなかった事ができるようになる変化を感じる事ができ、家での接し方が変わった」「家でも親子で、教えてもらった歌や踊りを頻繁にやるようになった」</p> <p>「親子で手を繋いで、音楽に合わせて動く事、絵を描いて制作をする事、絵本の読み聞かせを静かに聞く事、回を重ねるごとに色々な事が出来るようになった」</p> <p>「音楽は心を豊かにすると思うので、子どもと親の健康に繋がればと思う」</p> <p>「楽しみながら音楽に触れ合って、親子で成長できる環境は素敵」といった感想をいただいた。心身のストレスの軽減や、発達の促進、孤育ての防止に繋がっており、音楽療法の分野では高齢者の自立にも貢献している。</p>
<p>8 省点・課題</p> <p>活動・事業を実施した結果、反省点や課題としてあげられる事項について記入してください。</p> <p>また、反省点や課題の改善方法を検討したり、解決を図った場合は、その内容を記入してください。</p>	<p>平塚市内の障がい者福祉施設関係者との、繋がりが希薄なため、障がい者対象の音楽療法をする機会が少なかった。交流会に積極的に参加するなどして、ネットワーク作りに努めたい。</p> <p>人員の不足は常に感じているところなので、活動に協賛してくれるメンバーを増やしたり、知名度を上げる為にも、ひらつか市民活動センター発行のボランティア情報誌、平塚市みんなのまちづくり事例集への掲載、ホームページの設立など、行政と共に周知に努めていきたい。</p>
<p>9 今後の事業展望等</p> <p>活動・事業について今後も継続的に行うものであれば、その計画や、団体としての今後の活動計画・事業展望等を記入してください。</p>	<p>継続的に行う事業としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未就園児親子対象の子育てリトミックサークル ・子ども発達支援室くれよん要支援児対象のリトミック ・高齢者施設での音楽療法 ・家庭教育学級リトミックコンサート、英語リトミックコンサート ・障がい者福祉施設にて多世代交流コンサート <p>以上の事業を軸に、より幅広い世代や地域にわたり、活動していける団体へと成長していきたい。</p> <p>将来的には、ハンディキャップがある方を対象とした音楽イベントやコンサートを手掛けられるように、事業を継続し経験を積みたいと思う。</p> <p>「音楽に国境はない」とよく言われる。活動を通じて、各世代、健常者、障がい者、高齢者の境無く、相互理解を深め、全ての人々が笑顔で暮らす事のできる、温もりある社会作りを目指し、活動を続けていく予定だ。</p>

活動・事業の収支決算書

※団体全体の収支ではなく、補助対象事業に限定した収支を記載してください。

事務局記入欄 発展コース補助割合確認

項目	予算額 (円)	決算額 (円)	増減額 (円)	具体的な内容 (増減理由や積算根拠)
補助金	100000	100000	0	平塚市市民活動推進補助金
社会福祉協議会補助金	0	15000	15000	平塚市社会福祉法人社会福祉協議会子育て支援事業等補助金
① 収入	144000	146250	2250	500円×288人・250円×9人
リトミック参加費	44045	45000	955	Mumu 18000円・大野公民館 10000円・城島公民館 7000円 Amici 10000円
収入合計	A 288045	B 306250	B-A 18205	発展コース：補助対象経費 円× % = 円 補助限度額 円
項目	予算額 (円) (うち補助金額)	決算額 (円)	補助対象経費 (円) (うち補助金額)	増減額 (円)
② 支出	177588 (100000)	148075	148075 (100000)	-29513
設備費	20000 (0)	11857	11857 (0)	-8143
教材費	10217 (0)	10179	10179 (0)	-38
事務・通信費	30240 (0)	23558	23450 (0)	-6682
製作材料費	50000 (0)	111081	111081 (0)	61081
交通費	0 (0)	1500	0 (0)	1500
研修費	0 (0)	0	0 (0)	0
支出合計	C 288045 (100000)	D 306250	304642 (100000)	D-C 18205
③ 収支決算額	B 306250	D 306250	円 = 0	円

【備考】

※支出額の () 内は、支出のうち補助金から支出する金額を記載してください。また、各支出項目についての領収書の写し (コピー) を添付してください。



2019年 7月27日
ラスカホールにて。
mumuピアノ発表会でゲストとして出演



2019年 9月23日
大野公民館ホールにて。

東ブロック公民館の家庭教育学級の
一つとして行った、英語リトミック。



2019年 12月13日
城島公民館ホールにて。

城島公民館の家庭教育学級の一つ
として行った、コンサートwithリトミック。



2020年 2月23日
大野公民館ホールにて。

公民館まつりで行った、リトミック発表。

平塚市市民活動推進補助金 令和元年度事業報告書（入門・発展コース）

1 団体名	平塚100人カイギ	
2 事業名	平塚100人カイギ	
3 コース区分 ・補助額	(以下のどちらかのコースを○で囲んでください。 <input checked="" type="radio"/> 入門コース ・ <input type="radio"/> 発展コース	10万円
4 実施期間	(開始期日) 平成31年 4月 1日 ~ (完了期日) 令和2年 3月31日	
5 事業の目的 申請書と同じ内容を 記入してください。	平塚100人カイギで実現したいこと。 1. 「平塚人材の新しい交流を生み出す」 2. 「市外から平塚に来たくなる人の流れをつくる」 3. 「学生におもしろい大人、多様な生き方があることを知ってもらう」 この3点を通じて平塚をより元気にしていきます。	
6 実施した 内容 活動・事業の実績(実 施内容・実施日・場 所・参加人数など) について具体的に記 入してください。 ※ 申請書の内容と 相違があった場合は その変更点と理由を 記入してください。	4/14、5/19、6/30、7/28、8/25、10/27、11/17、12/8、1/12、2/9に 通常の平塚100人カイギのイベントを開催。 今年度のべ219名が参加。(2018年からの累計約550名) 学生の参加は、約30名。 会場は、主にひらつか市民活動センターでの開催が主でした。 その他の会場として、八幡山洋館やギャラリークーカ、平塚総合体育館などを 利用させていただきました。 9/22には、平塚でデイキャンプを行い、登壇者との懇親を深めました。 また、年度末には、都内在住のリトアニア人をお呼びし、 平塚リトアニア交流会を開催しました。 申請時にゲストとして、予定していたハンドサイン、リトアニア選手、穂積選 手、織姫は、都合が合わず、見送りました。	

<p>7 得られた 成果・効果</p> <p>活動・事業を実施したことで良かった点、得られた成果、確認された効果などについて記入してください。</p> <p>また、アンケート等で参加者や受益者（サービスを受けた方）の評価がわかる場合は、記入してください。</p>	<p>活動成果として、今まで出会わなかった平塚にまつわる活動家たちが集まり、派生的な活動が生まれています。</p> <p>例として、平塚の歴史を学び街づくりを考える HCDI、料理や食材などを通じてリトアニアを盛り上げるリトマニア、居場所作りのアソビエカフェ、認知症を考える機会提供をする繁田ハウス、平塚を観光地にしようと着地型観光推進委員会など。</p> <p>平塚在住で普段は都内や世界で活躍されている方の発掘し、コラボレーションすることで、今までにない取り組みが生まれています。</p> <p>また、毎回参加する小学生や中学生や大学生の参加者も、平塚 100 人カイギのゲストとの交流から学び成長しています。</p> <p>新しい平塚の良さを発掘、発信でき、元気な平塚の一助になっていると感じます。</p>
<p>8 反省点・課題</p> <p>活動・事業を実施した結果、反省点や課題としてあげられる事項について記入してください。</p> <p>また、反省点や課題の改善方法を検討したり、解決を図った場合は、その内容を記入してください。</p>	<p>平塚 100 人カイギは、20 回のイベントで終了する団体です。現在は、14 回まで開催しました。</p> <p>反省点として、毎月の会の開催に追われ、落ち着いて考える時間が少なく、場当たり的な会もありました。一回の質を高めることも必要な取り組みだと感じています。</p> <p>また、補助金をいただいたことで、安心して活動することができたこと、大変感謝しております。</p> <p>一方、補助金の活用という点では、慣れていないこともあり、年度末にバタバタとなってしまったのが現状です。もっと効果的で有効な補助金の活用方法があったのではと反省しています。対策として、今後補助金を活用する際は、3 カ月単位で補助金の使用状況を団体内でチェックすることが大切と感じました。</p>
<p>9 今後の 事業展望等</p> <p>活動・事業について今後も継続的に行うものであれば、その計画や、団体としての今後の活動計画・事業展望等を記入してください。</p>	<p>令和 2 年度内に平塚 100 人カイギは終了します。今後の展望としては、平塚 100 人カイギのゲスト 100 人を集めた会を開くこと。平塚 100 人カイギで培った人脈とノウハウを次の世代に渡していくことをしていきたいです。</p> <p>例えば、子供 100 人カイギの開催をするなどして、子供たちが活躍できる場の提供など。</p> <p>また、平塚 100 人カイギで生まれたサブプロジェクトを支援して、新たな平塚の活力になるようにしていきたい。</p> <p>まずは、平塚 100 人カイギの最終回 20 回目をしっかりやり遂げることで、平塚市の今後の発展に寄与したい。</p>

活動・事業の収支決算書

※団体全体の収支ではなく、補助対象事業に限定した収支を記載してください。

事務局記入欄 発展コース補助割合確認

項目	予算額 (円)	決算額 (円)	増減額 (円)	具体的な内容 (増減理由や積算根拠)
補助金	100,000	100,000	0	平塚市市民活動推進補助金
参加費	510,000	218,781	-291,219	999円×219名(12回)参加費 予定より参加人数が少なく(600名予定)、当日支払いだったため。
団体会費	0	4,527	4,527	事業費の不足分を団体会費から補填
収入合計	A 610,000	B 323,308	B-A -286,692	発展コース：補助対象経費 100,000円 補助限度額 100,000円
項目	予算額 (円) (うち補助金額)	決算額 (円)	補助対象経費 (円) (うち補助金額)	具体的な内容 (増減理由や積算根拠)
会場費	98,850 (50,000)	8,200	8,200 (7,000)	増減額 (円)
講師謝礼	370,000 (50,000)	93,000	93,000 (93,000)	プレジール、商工会館を使わなかったため、減額 (内訳：八幡山洋館 3,400円、総合体育館 4,800円)
食糧費	60,000 ()	219,500	0	穂積選手、ハンドサインを呼べなかったため、減額 (内訳：デイキヤンプ 33,000円、平塚リトニア交流会 60,000円)
印刷費	81,150 ()	0	0	懇親会費の費用を会から当てたため、増額 (内訳：茶・菓子 20,954円、懇親会費 177,802円、BBQ20,744円)
消耗品費	0 ()	2,608	0	自宅での印刷に切り替えたため、減額
支出合計	C 610,000 (100,000)	D 323,308	D-C -286,692	学生への学業支援して拠出したため、増額 (内訳：図書カード等 2,608円)
③収支決算額 B 323,308円 - D 323,308円 = 0円				【備考】

※支出額の () 内は、支出のうち補助金から支出する金額を記載してください。また、各支出項目についての領収書の写し (コピー) を添付してください。

平塚100人カイギ 活動・事業実施状況の写真



Vol13の集合写真



Vol14の様子



9/22 デイキャンプ



3/20 平塚リニア交流会